

高岡タイムトラベル



能町駅付近

現在のJR城端線、氷見線、新湊線の前身は、富山県初の鉄道として開業した『中越鉄道』で、県西南部で生産された農産物を港へ輸送することを主として設立され、高岡の商業の発展にも大きく貢献しました。

写真は、高校生だった昭和44年に、新湊から荷物を積んで走るSL(C11型)の様子を撮影したものです。当時は、40～50台の貨物をひき何往復も線路を行き来していたSLも、今はディーゼル機関車に姿を変え、一日2往復まで減りました。

右側の写真は、当時と同じ場所で撮影したものです。かつてフィルムで写した写真をデジタルカメラで撮影し直し、比べてみるのも新たな楽しみになりそうです。



現在の様子

当時のお話

能町（能町地区）

いしだ まさひろ
石田 正博さん